

I C Tグローバル展開の在り方に関する懇談会（第2回）議事要旨

1. 日時 : 平成23年5月24日（火）15:30～17:00

2. 場所 : 総務省第1特別会議室

3. 出席者 :

(1) 構成員（五十音順、敬称略）

磯部 悦男、伊藤 明男（代理：飯塚氏）、大畠 昌巳（代理：伊藤氏）、岡 素之（座長）、片山 泰祥（代理：小林氏）、北村 秀夫（代理：真崎氏）、佐々木 弘世（代理：村瀬氏）、嶋谷 吉治、中島 透、中村 康佐、浜場 正明（代理：林氏）、松本 徹三、宮部 義幸、椋田 哲史（代理：井上氏）、村上 輝康（座長代理）、安井 潤司、山本 直樹（代理：吉川氏）

(2) 外部有識者

京都大学大学院石田教授、大阪工業大学平松教授、早稲田大学後藤教授

(3) 総務省、経済産業省

小笠原総務審議官、利根川情報通信国際戦略局長、久保田官房総括審議官、横田情報通信国際戦略局次長、今林参事官、谷脇情報通信政策課長、竹内技術政策課長、小笠原通信規格課長、岡野国際経済課長、湯本国際協力課長、本間国際戦略企画官、寺岡情報通信政策課課長補佐、経済産業省大澤情報政策課調整官

4. 議事

(1) プレゼンテーション

(2) プロジェクト案件形成WGにおける議論について

(3) 標準化戦略WGにおける議論について

(4) 日ASEAN官民協議会における検討状況について

(5) 中間整理（案）について

(6) フリーディスカッション

5. 議事要旨

【プレゼンテーション】

- 京都大学大学院情報学研究科石田教授より、資料2-1に基づきプレゼンテーションが行われた。

【プロジェクト案件形成WGにおける議論について】

○ プロジェクト案件形成WG主査の村上構成員より、資料2-2に基づきプロジェクト案件形成WGにおける議論について説明が行われた。

【標準化戦略WGにおける議論について】

○ 標準化戦略WGの平松主査代理より、資料2-3に基づき標準化戦略WGにおける議論について説明が行われた。

【日ASEAN官民協議会における検討状況について】

○ 日ASEAN官民協議会の後藤座長より、資料2-4に基づき日ASEAN官民協議会における検討状況について説明が行われた。

【中間整理（案）について】

○ 事務局より資料2-5に基づき、中間整理（案）について説明が行われた。

【フリーディスカッション】

○ 震災からの経済復興に向け、民のパワーが高まりつつあり、これを生かすようなスキームが大切。標準化の分野においても、民間が結集する形で「ICT国際標準化推進会議」が作られており、スマートグリッドやデジタルサイネージ等に関する提案が出されているところであり、これらを活かしていくことが重要。また、標準化においては、標準の導入から実際に果実を取るまでのフェーズにおいて、官民が連携することが大切。その好例が地上デジタル放送日本方式の海外展開であり、官が積極的に相手国に働きかけを行うことで標準が導入され、標準の導入により市場が広がることで、日本企業が果実を取ることができた。このような標準化に加え、ユビキタスアライアンス等の実証実験部分のサポートも大切。また、クラウドをベースにしたシステムのように、新しい技術が国際的なシステムに適用される場合に必要となる制度的な整備や、国際間の合意形成について、官のサポートに期待。

○ 震災を経て、非常時に連絡が取れることの大切さ、データ保全の重要性等において、ICTの役割は大きな節目を迎えているのではないかと。日本のクラウド技術や強固なネットワークを、スマートシティと併せて海外展開することも考えられるのではないかと。

○ 経済成長なくして震災からの復興というのにはあり得ず、経済成長はアジアの成長を取り込んだグローバル展開なくしては考えられないため、本懇談会の議論は非常に重要。今回の震災ではインターネットやモバイル等、ICTが様々な局面で活躍した一方、電源や回線の喪失という課題も浮き彫りとなった。震災の教訓をもう一度洗い直し、ICTの強みや弱み、今後の取り組むべき課題等を整理した上で、政策の優先づけを行い、強みについてはグローバルに展開をしていくという視点も重要。また、IT戦略本部や知財本部等と連携を図りつつ、国全体の戦略の一環としてグローバル展開を図ることで、復興と経済成長に結びつけることが重要。

○ 中間整理(案)において、「ファイナンス支援の在り方」の項目にオペレーションへのICTの組み込みについて記載されているが、ICTを活用したインフラの高度化やオペレーション機能といった部分は日本の強みであり、「ファイナンス支援の在り方」の項目ではなく「プロジェクト案件形成の在り方」の項目に入れこむべき。

○ 中間整理(案)について、本日頂戴しましたご意見を踏まえまして、6月6日に開催される情報通信審議会の情報通信政策部会場で、本部会の中間整理として事務局より説明頂くということでご一任頂きたい。

(以上)